

### 31期相談員募集のためのミニ講座

第31期相談員養成講座「受講生募集事前説明会・傾聴ミニ講座」を3会場で行いました。

第1回は4月16日（日）午後1時から群馬県社会福祉総合センターにて参加者8名をお迎えして行いました。講座では「傾聴について」の講話と聞き方の違いや気持ちを受けとめる体験をしました。第2回は4月22日（土）午後1時から高崎市総合福祉センターにて参加者5名をお迎えして行いました。講座は「心によりそうとは」の講話と聴く練習のワークが行われました。第3回は5月6日（土）午後1時から安中市文化センターにて参加者10名をお迎えして行いました。講座は「今の自分を大切にす対話」で話す聴く体験と価値観シートを使って行いました。参加者と一緒に会場にいるみなで話す聴く体験を共有しました。（研修委員M・T）

### ファシリテーター研修

第31期相談員養成講座「コミュニケーション研修」のためのファシリテータートレーニングを行いました。第1回は5月21日（日）14：00～16：00に群馬いのちの電話研修室にて鈴木育三氏による講話「ファシリテーターについて」に研修スタッフ出席16名で行いました。当日出席できなかった研修スタッフも後日DVDを視聴しました。第2回は5月27日（土）9：30～12：00に群馬いのちの電話研修室にて、平塚園枝氏を講師に「ファシリテータートレーニング」を研修スタッフ出席19名で行いました。学びを促進する役割と同時にメンバーの一員としてこれからも互いに研鑽を重ねていきたいと思えます。（研修委員M・T）

### 第30期相談員養成講座修了式

社会福祉法人群馬いのちの電話第30期電話相談員養成講座修了式を、2023年6月16日（金）の18：30から、県社会福祉総合センターで行いました。当日は、第30期養成講座受講生12名と、下城理事長、今井事務局長、熊沢研修委員長をはじめとする各委員会委員長、担当の研修スタッフなどが出席し、来賓の方々からの祝辞を頂きました。また、中山認定委員から認定に至る経緯が報告されました。30期生と関係者で記

念写真の撮影を行い終了しました。

修了式後は、群馬センターの見学を行いました。見学後は、30期生とスタッフとで、長かった前期研修の振り返りや、今後の抱負などを話し合いました。とても有意義な時間となりました。7月からは実習生となり、後期養成講座が始まりました。（研修委員T・N）



### 第31期電話相談員養成講座開講式

7月17日（月）、県社会福祉総合センターにて受講生11名を迎えて、第31期相談員養成講座開講式を行いました。今井洋理事長から「群馬いのちの電話」の成り立ちと現況について、さらに受講生が決意をもって応募されたことに感謝が述べられました。熊沢幸雄運営委員長からは自分を知り、仲間を大切にしたいという要望がありました。鈴木育三認定委員長からは心にマスクをしないで、素顔な自分に出会ってとエールが送られました。受講生からは自己紹介と講座を受ける抱負が語られ、研修スタッフも講座にかかる思いを述べました。その後、出席者全員で記念撮影をして閉会しました。





休憩をはさんで鈴木育三氏によるオリエンテーションが行われました。内容は、Ⅰ. 大越桂の詩「共鳴弦」の紹介。Ⅱ. いのちの電話の働きについて、①「英国サマリタンのボランティア活動」の紹介② Befriending「ともだちすること」③ 心の耳を傾けて聴くこと④ いのちの響きあい「いのちの共振れ」⑤ 悲嘆、痛みを分かち合う「共感、共鳴するところ」。Ⅲ. ボランティア活動について。以上の講話がありました。

いずれの講話もいのちの電話相談員として大切なことで、受講生は熱心に耳を傾けていました。(研修委員H・K)

## ケース検討会について

群馬いのちの電話研修委員会ケース検討会の活動を報告します。今年度のケース検討会は、おおよそ月に1回集まり検討会を実施してきました。担当者は検討会までに各々分担した受信資料を読み込み、気づいたことや考えたいこと、共有したいことを記録に起こして検討会の準備をしています。検討会には研修顧問の出席をいただき疑問に思うことを相談し、また、メンバー同士も思いを伝えあい考えてきました。検討会の日には、希望する相談員は陪席ができます。いままでに数名の方が参加しています。毎回の報告内容は記録を作成して、相談員がいつでも閲覧できるようにしています。検討会で話し合われた内容の必要に応じては、研修委員会での検討や継続研修へ連絡をお願いしました。互いに学び合い研修することを続けて、「電話」を通して援助を行ういのちの電話の目的を目指して活動しています。(研修委員M・T)



## 研修スタッフSV研修

継続グループでの録音研修を研修スタッフ同士で行う、実習スタイルでのグループスーパービジョン研修を3年続けて行ってきました。このスタイルの研修を通じて、私たちの実際を知るという目的もありました。

今年度も7月29日、8月5日、27日と3グループに分かれて実施しました。過去二回の様子を踏まえ、今回は今までの「スーパーバイザー（継続グループ担当者）のための研修」から「グループスーパービジョン」そのものをそれぞれの役割（録音提供者・スーパーバイザー・オブザーバー・メンバー）を通じて学び直すことに変更しました。研修内容を詰めていく段階で研修顧問の岡田さんが急逝され、担当スタッフの困惑もありましたが、研修内容の変更は出来ませんでした。

今回は、録音の確認や打ち合わせ等事前準備の不足、バイザー役同士の連携の在り方など課題がはっきりしてきました。振り返り研修を9月10日に行いましたが、改めて私たち研修スタッフが録音提供者を大切に、メンバーと共に作る録音研修を行う事ができるよう、研鑽を積み続けていかななくてはならないと思いました。(研修委員Y・S)



## 相談委員会「ボウリング大会」

レクレーションを通じて相談員同士の交流を深めようと、9月30日ボウリング大会が行われました。ピンが飛び散る快音の中で笑顔がはじけ、2ゲームマッチで優勝者は306点。3年にわたるコロナ禍で、集うことも運動することも久しぶりでしたが、かなりレベルの高いゲームとなりました。その後、会場を移動して食事会を行いました。今後もこうした交流の場を計画する予定です。(相談委員長S・M)